



Smile

ケアケア通信

【Vol.22】

発行人：スマイル☆ケアケア事務局

発行日：令和3年11月11日

ご存じですか？

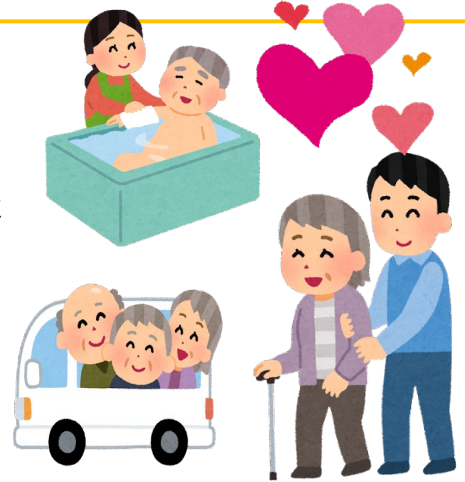
11月11日は「介護の日」

合言葉は「いい日、いい日、毎日あったか介護ありがとう」

厚生労働省では、“介護について理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者及び介護家族を支援するとともに、利用者、家族、介護従事者、それらを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進する観点から、高齢者や障害者等に対する介護に関し、国民への啓発を重点的に実施するための日”として、平成20年より「11月11日」を「介護の日」と定めており、この前後2週間にかけて、介護に関するイベントが各地で多く開催されています。

イベントに参加することで、知らなかった介護の知識や技術について学べるほか、今後の介護について、身近な人と話し合い、また考えるきっかけにも繋がるのではないのでしょうか。各自治体、関係団体での様々なイベントについて、ぜひ皆様、チェックしてみてください！

(日本介護福祉会：<https://www.iaccw.or.jp/projects/kaigonohi>)



News

2022春闘で経団連も後押し！

社員の「ダブルケア」 企業への対応を求める！

経団連が2022年春闘に向けた経営側の方針である「経営労働政策特別委員会報告（経労委報告）」で、女性社員への仕事と家庭の両立支援を強化するよう会員企業に呼びかけることが分かりました。

育児や親の介護などで本人の意に反して仕事を辞める人を減らし、役員候補となる部長や課長への女性登用を増やす狙いがあり、育児中の女性が親などの介護も担う「ダブルケア」への対応を企業に求めていくもので、経団連が成長戦略として掲げている「2030年までに女性役員を30%以上」の目標達成に向けた取り組みと見られ、女性に必要なキャリア形成を後押しするよう、会員企業に呼び掛けていくとのことでした

記事引用：読売新聞オンライン11/6（土）5：03配信

大手企業も会員として多く所属する経団連からのダブルケアの支援発信は大変インパクトがあるものの、ダブルケアは女性だけのものではありません！誰もが当事者となりうる真のダブルケア（多重ケア）の支援やケアする人のケアの必要性について、スマイル☆ケアケアは、これからも一丸となって取り組んでいきます！



● ダブルケア月間HP：スマイル☆ケアケアも参加します

人をケアすることの本質を垣間見る映画

～劇場版 心の傷を癒すということ～

ケアケア映画館

この映画は神戸で精神科医として勤務されていた安克昌氏の著書を原案に映画化されたものです。

安医師は、妻子とともに多忙ながらも幸せな日々を送っている中、阪神淡路大震災により被災。自ら被災しながらも避難所の被災者たちの声に耳を傾け、心の傷に苦しむ人たちに寄り添う中、自身の病が発覚。

自身にもケアが必要な中で人の心を癒すということとは、どういうことなのか？その本質を探る映画でした。

避難所で寝泊まりする子供たちが「地震ごっこ」

（台にいろんなものを載せてそれを揺らして落とす）に興じ、それを見た大人が「地震でようけ人が死んでるのに何してんねん！」と頭ごなしに叱り子供たちは肩を落とします。安医師は「地震ごっこをして遊ぶのは、いまだに地震のこを受け止められていない。地震ごっこをすることで大きなショック、恐怖を相対化しているのです」と伝え、大人たちは子供たちの心がのびやかになるような遊べるスペースを作るといったシーンがありました。目に見える出来事だけで判断しない、心の奥底にあるその人の声なき声に耳を傾けていくことこそ大切だと感じさせてくれました。

「心のケアって誰も一人ぼっちにさせへんってこと」が心に残るおすすめ作品です。ぜひご覧ください！

『心の傷を癒すということ』

劇場版HP <https://gaga.ne.jp/kokoro/>



【編集後記】 ケアケア通信編集作業中にメインで使っているパソコンがクラッシュ☆日頃当たり前にできる作業も様々なアプリやソフトのインストールを元に行われていることに愕然としつつ、復旧作業をコツコツと行う中「当たり前に当たり前のことができていくわけじゃないんだな～」と痛感したのでした。元気な心と体もしかり。当たり前と思わず、日々多方面のメンテナンスを怠らないことが毎日につながっていくんですね！次号は12月11日発行です。お見逃しなく～！（持ち回り編集長OKN）

【連絡先】スマイル☆ケアケア事務局 Email-smilecarecare@gmail.com